

中国山地の豊かな自然を活かした広域観光活性化計画



【整備計画の目標】

- ①岡山県と鳥取県が連携し、中国縦貫自動車道等を軸として、観光拠点へのアクセス性を向上させ、広く圏域外からの来訪者の増加を図り、観光入込客の増加など地域の活性化を図る
- ②鳥取・岡山ドライブマップの作成等、ドライブ旅行者を意識した情報発信を重点的に展開する
- ③高梁川流域連携中枢都市圏における観光地アクセスの向上により、観光振興による都市圏形成の促進する

【整備方針】

- ①拠点施設へのアクセス時間を短縮させ、周遊効率性を高める ⇒道路拡幅、バイパス整備
- ②基幹事業と一体となって観光地としての魅力を高める ⇒鳥取・岡山ドライブマップの作成等

【中間評価】

実施体制: 整備計画構成自治体・団体(鳥取県、岡山県)

実施時期: 平成28年10月

公表方法: 岡山県HP

【定量的指標の現況および目標値】

	当初現況 (平成22～24年平均)	中間評価(平成28年10月実施) (平成26～27年平均)	事後評価(平成31年9月実施予定) (平成26～30年平均)
指標①【鳥取県・岡山県 共通目標】 観光入込客数	468.1万人	490.4万人(4.8%増) 479.6万人(2%増)	491.5万人(5%増)
指標②【岡山県 単独目標】 湯郷温泉入湯税による入浴者数	19.9万人	21.1万人(6.0%増) 20.5万人(3%増)	21.1万人(6%増)
指標③【岡山県 単独目標】 高梁川流域連携中枢都市圏における 観光入込客数	28.2万人	28.9万人(2.5%増) 29.0万人(3%増)	29.9万人(6%増)

※赤字:実績、黒字:目標値

【講評および今後の方針】

○指標①、②については、県道蒜山高原線等の供用開始、鳥取・岡山ドライブマップの作成等により、拠点施設のアクセス性、周遊効率性が向上し、目標を大きく上まわる結果となった。

○指標③については、中間目標には達していないが、観光入込客数は着実に増加しており、一定の整備効果を得ることができた。引き続き、拠点施設へのアクセス性の向上を目指し、道路整備を進めるとともに、ドライブ旅行者を意識した情報発信もより一層進め、最終目標を達成できるよう努める。

事業効果の発現状況



○県道蒜山高原線等の供用開始、鳥取・岡山ドライブマップの作成等により、鳥取県に隣接する地域の拠点施設のアクセス性、周遊効率性の向上により、観光入込者数の増加につながっている

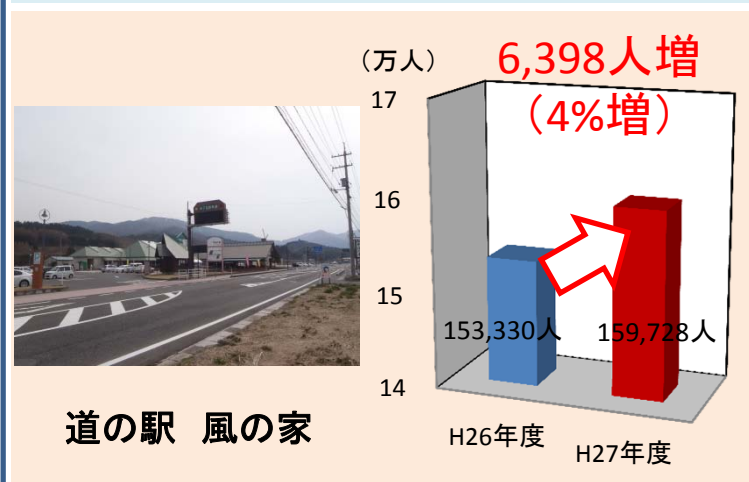
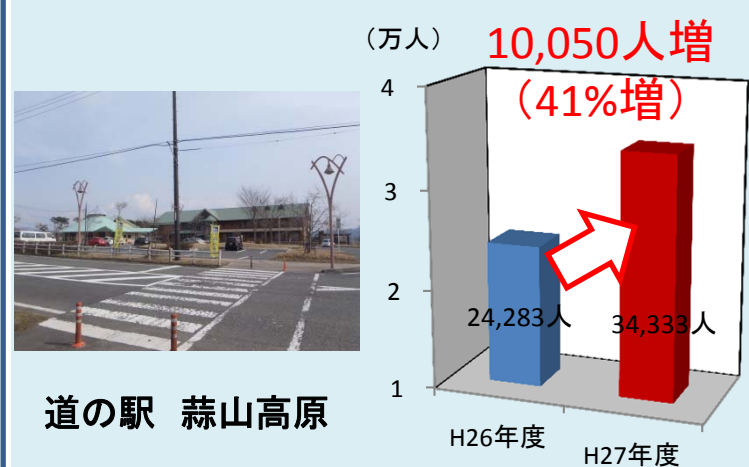
＜蒜山高原観光施設群・湯原温泉群における道路整備＞



蒜山高原線の整備状況

○幅員狭小であった未整備箇所が2車線化されることで、アクセス性・周遊性向上

＜拠点施設 入込客数＞



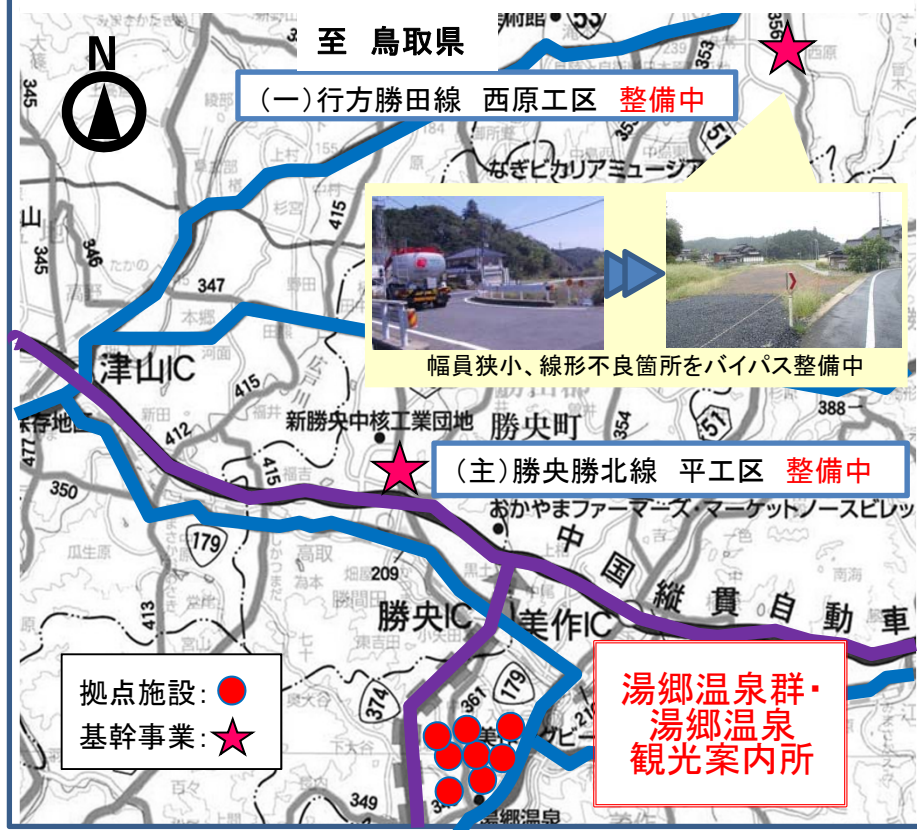
○平成26年度から27年度にかけて、蒜山高原内の2つの道の駅で入込客数も増加している

事業箇所の進捗状況



○広く圏域外からの来訪者の増加を図るため、県道長屋賀陽線の供用に続き、県道行方勝田線等の整備を進めるとともに、ドライブマップ等にてドライブ旅行者への情報発信を行っている

＜湯郷温泉周辺における道路整備進捗状況＞



＜高梁川流域における道路整備進捗状況＞



＜鳥取・岡山ドライブマップ＞

- 鳥取・岡山広域観光協議会にて、鳥取・岡山ドライブマップを作成
- 両県内の観光案内所、中四国各県、兵庫県、大阪府及び京都府の道の駅等で配布
- 「鳥取&岡山を巡るモデルコース」等を紹介
- モデルコースを両県観光連盟のポータルサイトで公表



中国山地の豊かな自然を活かした広域観光活性化計画

中国山地の豊かな自然と、歴史文化施設や温泉地などの観光拠点を有する岡山県と鳥取県が連携し、中国横断自動車道岡山米子線の米子自動車道、中国縦貫自動車道、平成24年度全線開通した中国横断自動車道姫路鳥取線の鳥取自動車道及び現在整備が進んでいる地域高規格道路北条湯原道路を軸として、観光拠点へのアクセス性を向上させ、山陰と山陽を結ぶ広域的な観光エリアとしての魅力を高め、観光入込客の増加など地域の活性化を図る。

